



2025年10月15日

各 位

会 社 名 株式会社 サーバーワークス
代 表 者 名 代表取締役社長 大石 良
(コード番号：4434 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 大川 敏昭
TEL. 03-5579-8029

配当方針の変更及び配当予想の修正（配当開始）に関するお知らせ

当社は、2025年10月15日開催の取締役会において、2026年2月期以降の配当方針の変更及び配当予想の修正（配当開始）について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします

記

1. 2026年2月期以降の配当方針の変更及び配当開始を予定する理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけておりますが、さらなる成長に向けた事業の拡充や組織体制、システム環境の整備への投資等への財源として内部留保の充実を図りつつ、株主の皆様への利益還元を検討することを基本方針としておりました。これまで当社は成長過程にあることを踏まえ、内部留保の充実により財務体質の強化を図り、事業拡大への投資に充当し、企業価値の向上を図ることが株主の皆様に対する最大の利益還元につながる考え、配当実施時期は未定としておりましたが、上場以来業績は堅調に伸長しており、事業基盤が拡大し、財政状態も安定してまいりました。

さらに、2025年4月に公表した中期経営方針においては、売上高・利益の絶対額の増大とROE10%の達成を目標に掲げ、AWSとの戦略的協業の深化やセキュリティ・生成AI・海外展開といった新領域への投資強化を進めております。加えて、採用・育成・定着を重視した人的資本戦略や組織基盤の整備、サステナビリティ経営の推進を通じて持続的な企業価値の向上にも取り組んでおります。

こうした成長戦略の推進及びストック売上比率90%以上に裏打ちされた安定したキャッシュフローによって健全な財務基盤を確保できる段階に至っております。今後の業績見通しを総合的に勘案した結果、事業投資のための内部留保を維持しつつ、株主の皆様への利益還元を両立できると判断し、2026年2月期において、創業以来初めてとなる配当を実施する予定といたしました。

2. 配当政策

【変更前】

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけておりますが、現在、当社は成長過程にあると考えており、当面は内部留保の充実を図り、更なる成長に向けた事業の拡充や組織体制、システム環境の整備への投資等への財源として有効活用することが、株主に対する最大の利益還元につながると考えております。

このような考えのもと、設立以来配当は実施しておりませんが、株主への配当による利益還元も重要課題

であると認識しております。現時点において配当の実施及びその実施時期については未定であります。将来的には各事業年度の経営成績及び事業計画等を総合的に勘案し、株主への利益還元を検討していく方針です。

なお、当社は、剰余金の配当を行う場合には、中間配当と期末配当の年2回を基本方針としております。これらの剰余金の配当の決定機関は、中間配当、期末配当ともに取締役会であり、「会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行うことができる。」旨を定款に定めております。

【変更後】

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けております。株主の皆様への利益還元につきましては、当社グループの成長を加速させるための事業の拡充や組織体制、システム環境の整備等の成長投資とともに、財務面での健全性のさらなる強化、経営における成長性と安全性の均衡に努めつつ、各事業年度の経営成績等を総合的に勘案した利益還元を安定的かつ継続的に行う方針です。

そのため、今後の具体的な配当政策については、一過性の資産の売却損益及び現預金の増加を伴わない損益を除いた親会社株主に帰属する当期純利益に対して20%～30%程度の連結配当性向を目安とするだけでなく、短期的な業績連動に左右されにくく利益の一時的な変動局面における配当の安定性を確保するため株主資本配当率（DOE）の下限1.0%を目安に運用する方針です。また、短期的には機動的な自己株式の取得も選択肢とし、総還元性向は25%～50%を目安とする方針です。

他方、成長投資に必要な資金余力を確保するためにも営業キャッシュフローを注視し、営業キャッシュフローに対する配当総額の割合を10%～30%程度の範囲内におさまるよう成長投資と株主還元のバランスを図ってまいります。

なお、当社は、剰余金の配当を行う場合には、中間配当と期末配当の年2回を基本方針としております。これらの剰余金の配当の決定機関は、中間配当、期末配当ともに取締役会であり、「会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行うことができる。」旨を定款に定めております。

3. 2026年2月期配当予想の内容

基準日	1株あたり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 2025年4月14日	—	0円00銭	0円00銭
今回予想 2026年2月期	—	25円00銭	25円00銭
当期実績（予定） 2026年2月期	0円00銭		
前期実績 2025年2月期	0円00銭	0円00銭	0円00銭

（注）上記の配当予想は、発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の配当は今後の様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

以上